

報告日 令和7年10月1日
報告回次 1回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	由利本荘市			代表者名	湊 貴信
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	企画振興部情報政策課DX推進班	連絡先電話番号	0184-24-6366
担当者役職	班長	担当者氏名	阿部 香奈子	連絡先E-mail	
住所	015-8501 秋田県由利本荘市17				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署
担当者氏名	連絡先電話番号

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	由利本荘市デジタル人材育成研修
概要	職員にデジタルについての見識を深めてもらい、現場からデジタル化やDXへの提案等を促すことで、より市民目線によるデジタル化やDX推進を図ることを目的にデジタル人材の育成・確保の研修を実施する。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 計画策定支援		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年9月25日	講演(実地)	13時00分	17時00分	15
				活動時間（分）	225

2-2. 派遣場所	会場名	由利本荘市役所	最寄駅	羽後本荘駅
	所在地	由利本荘市尾崎17	最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	村上 文洋
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に）	デジタル化だけでなく、人口減少対策など全国の課題について、それぞれが認識し、自分たちに合ったやり方で対応していく必要がある。いかに課題を明確化させるかが重要であり、それぞれが置かれている状況をジブンゴトとして捉えることができた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】			合計人数	32人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)	
		人数	32	0	0	
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果						
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）		本市では、各種デジタル化を推進してきているが、職員自身の業務改善やデジタルによる課題解決に向けて、ジブンゴトとして捉え、デジタル活用を検討することが難しい状況であった。				
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）		職員がデジタルに関しての理解を深め、課題を深掘りしていくことで、目指す姿を整理し、現場（原課）の市民目線に基づいたデジタル化や自身の業務効率化を推進する。職員の意識改革。職員と市民双方の利便性が向上することによる幸福度の増大。				

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	「行政DXの進め方～脱皮できない蛇は死ぬ～」と題して、日本の人口推移から予測される人口減少とその対策について、また、その中で自治体職員が置かれていく状況と、自治体が存続していくために取り組まないといけないことなどについて講義いただいた。DXを取り組むためのポイントとして、現状に満足して「思考停止」となっているとDXは全く進まないことから、意識醸成も必要であること。課題の明確化が大事であるとし、「新しい会議のルール」として、資料説明は行わない、会議時間の厳守、その場で決定・承認し、会議終了後にすぐ行動に移すなど、具体的な会議改革について紹介された。
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	職員は、デジタルによる業務効率化の必要性を認識し、DXをジブンゴトとして捉えるようになった。デジタル推進について前向きになった。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 成果物はなし
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなつた内容 (具体的にご記入ください)	特になし
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 支援終了後に、アンケートを実施した。「DXは難しいもの」という先入観がやわらぎ、身近に感じられるようになり、必要性を強く感じたようだ。意識の変化やマインドセットができたほか、業務改善への具体的な気づきがあり、デジタル化やDXに対するハードルが低下した。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい ④予算以外で、今後取組む事項がある
4-4. 事業の最終的な目指す姿	職員がデジタルに関しての理解を深め、課題を深掘りしていくことで、目指す姿を整理し、現場（原課）の市民目線に基づいたデジタル化や自身の業務効率化を推進する。職員の意識改革。職員と市民双方の利便性が向上することによる幸福度の増大。

5. 報告書についての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 揭載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお「その他」を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

